

ハンドボール NO. 24

Japan
Handball
Association

社会大
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 フロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 **北電B-男28**

年月日 | 2021 年 8 月 17 日 (火)
 大会名 | 令和3年度全国高等学校ハンドボール選手権大会 北陸3区予選大会 北電B-男28

公式記録用紙

A	関東第一高等学校	中部大学春日丘高等学校	B
---	----------	-------------	---

都道府県	市町村	会場	回戦
福井県	永平寺町	北陸電力福井体育館フレアBコート	2回戦

前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B
	13	18		21	37									
7m得点/総数	A 0/1			チームタイムアウト 1 2 3 0530			チームタイムアウト 1 2 3 1759			B 1/1			7m得点/総数	

No.	関東第一高校	G	W	2	D	DR	No.	春日丘高校	G	W	2	D	DR
1	嶋田 大輝						1	山崎 晴央					
2 c	笹田 義律	5		1			2 c	近藤 佑樹	5				
3	江連 人空央	6		2			3	細野 聖太	10				
4	野田 碧希	1					4	篠田 凪	7				
5	二木 彪悟	7					5	万澤 良忠	4				
6	河田 凌太郎						6	北島 健	1				
7	柏木 淳大	1					7	齋藤 峻太	1				
8	田中 正也						8	浅井 康希	1				
9	花原 心之介						9	久保 光貴	3				
10	喜安 優翔						10	柴田 夏唯斗					
11	吉田 光希	1					11	石川 純也	2				
12	竹谷 将						12	濱野 太一					
13	神谷 敦毅						13	一野 楓矢	1				
16	北尾 海斗						14	宿院 悠平	2				
役員A	壘村 敦		1				役員A	山本 賢太郎					
役員B	渡邊 瑛士						役員B	古木 拓矢					
役員C	花原 咲之介						役員C	山口 佑樹					
役員D							役員D						

A	考相敦	チーム役員A署名	山本賢太郎	B
---	-----	----------	-------	---

レフェリー	堀田 侑佑	櫻井 隆光	斎田 有馬	櫻井 隆光
TD	小林 亮太	岩元 成憲	小林 亮太	岩元 成憲
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告番として内容を記入

ハンドボール No. 26

令和3年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月17日 火曜
会場	北陸電力福井体育館フレアBコート
種別	男子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
スコア	関東第一	21	13-18	37	春日丘
			後半		
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>関東第一のスローオフから試合開始。互いのチームGKセーブからの幕開け。先に点が動いたのは関東第一、7番柏木の速攻で先取る。関東第一、気迫のDFで守るも春日丘4番篠田のしなりのあるステップシュートで反撃。互いのチーム運動量のあるDFで相手の攻撃チャンスを簡単に作らせない。関東第一の独特なリズムのOFに春日丘のDFが苦しむも、3番細野の豪快なロングシュート、1番山崎のファインセーブなどで春日丘がリードを広げていく。得点が欲しい関東第一だが、3番江連の力強いカットインで春日丘に流れを渡さない。関東第一の粘りのDFや5番二木に速攻やステップシュートで点差を縮めるも、春日丘の4番篠田5番万澤の巧みなポストプレーなどで、春日丘5点リードで前半終了した。</p>
後半	<p>後半開始序盤から、春日丘の速攻のペースが一気に上がる。連続得点に加え1番山崎のダイナミックなセービングが関東第一の得点を許さない。3番細野のスピッシュ、2番近藤の速攻で点差広げたところで関東第一タイムアウト。悪い流れを断ち切りたい関東第一だが、またしても春日丘GK1番山崎のセービングが立ちはだかる。関東第一4番細野がチャンスを確実に得点し、続いて3番江連の得点が関東第一サイドを鼓舞する。しかし春日丘の速攻は止まらない。多彩なシュートが関東第一のゴールを確実に揺らしていく。関東第一の2番笹田のミドルシュートや11番吉田のシュートで応戦するも、王国愛知を勝ち上がってきた春日丘が試合のペースを確実に掴み、37-21で春日丘が勝利した。</p>

記入者 竹内 功